

農林水産省 食料産業局長賞

(有) 特産館みまさか 岡山県美作市(みまさかし)

ひろがれ、都市と美作の交流の輪。都市住民の力を借りた農山村地域の活性化

組織概要

- 代表者 代表取締役社長 大澤 伸三
- 所在地 岡山県美作市
- 構成員 社員等約40名 登録生産者801名
- 活動開始年 平成6年



表彰理由

- 農業者の高齢化が進む中、地元の湯郷温泉やゴルフ場を訪れる観光客に対し、市内で生産された農産物を販売する拠点として、平成6年度に直売所「彩菜茶屋」を開設。平成9年には道の駅となり、平成15年度には年間売り上げが3億円を突破した。その後、将来の売上低迷を見越し生産者アンケートをとったところ、出荷余力があることが明らかとなったため、平成21年には大阪府箕面市に直営の2号店を開設し、地産都消の展開も進めた。
- 地産地消の取組みを軌道に乗せて地域の生産振興を促し、さらに県外都市にまで売り先を広げて都市との交流を進める戦略は先見性と発展性があり、地産地消を核とした消費拡大と生産振興のモデルとなる活動である。

取組内容

1. 直売所「彩菜茶屋」での農産物・加工品の販売

平成6年度に勝英農協が事業主体となり直売所を設置し、第3セクターの(有)特産館みまさかが運営にあたる。登録生産者約200名でスタートし、平成15年度には年間売り上げが3億円を超えた。2号店開設後の平成24年には、約800名の生産者が登録し、地域農業振興と農業者の所得向上に大きく貢献している。

2. 2号店「彩菜みまさか」を大阪・箕面市に開設

平成19年に売場面積が手狭になった段階で生産者アンケートをとったところ、約半数に出荷余力があることが判った。そこで、県外都市にも活路を求め、平成21年に大阪府箕面市に2号店となる「彩菜みまさか箕面彩都店」をオープン。箕面市の店舗周辺農家の売り場設置や交流事業も進めている。平成24年には2店の販売金額合計が9億円を突破している(彩菜茶屋3.6億円、彩菜みまさか6.2億円)。

3. 伝統野菜の「彩菜ブランド」認定

地域ブランドを育成するため、平成23年から「寒締めホウレンソウ」、平成24年から伝統野菜である「万善かぶら」、「日指ごぼう」を「彩菜ブランド」として認定し、店の人気商品となっている。

4. 会員の生産支援と販売サポート

登録生産者向けに「彩菜しんぶん」を発行し、売れ筋品目等の情報提供を進めるほか、行政と連携して栽培や農薬使用に関する講習会の開催や生産体制の支援も進める。また、生産者の約半数が高齢であるため、市内に集荷場を3カ所設置し、出荷負担の軽減にも努めている。

5. 消費者との交流による地産地消・地産都消

生産者が店頭に立つ対面販売の機会を増やし、顧客情報の収集や消費者との交流を進めている。また、生産者等の協力による郷土料理教室や農業体験の他、産地見学ツアーなども実施し、消費者との交流を深めている。